

R1 重点対策検証シート

重点対策

高齢者の交通事故防止

《対策の概要》

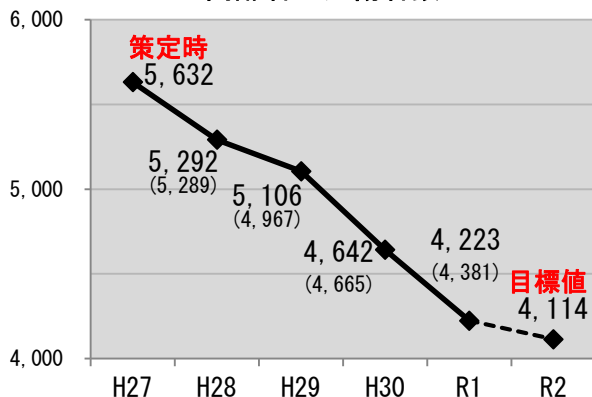
高齢死者の全体に占める割合は全体の約半数となっている。
 高齢者を交通事故の被害者や加害者にさせないため、交通安全教育や反射材の着用を推進し、高齢運転者の交通事故防止対策にも取り組んでいく。

担当課
 防犯・交通安全課
 警察本部交通総務課

指標の進捗状況

| 指標 | 単位 | 策定時 | 最新値 | R2 目標値 | 傾向 | R1 評価 |
|----------|----|-----------------|----------------|----------------|------------|-------|
| 高齢者の死傷者数 | 人 | 5,632 (H27年) | 4,223 (R1年) | 4,114 (R2年) | 9.0%減少 | A |

高齢者の死傷者数



《評価の説明》

- 目標値を達成するため、各年目指す値をどれだけ達成できているかを表したもの
- S 評価・・・目標値以上の減少が見込まれる
- A 評価・・・順調・達成見込み
- B 評価・・・要努力
- C 評価・・・要大きな努力

《指標の説明》

- 1年間(1月～12月)の高齢者の死傷者数

《現状→今後の方向性→重点推進事項》

| | |
|--------|---|
| 現状 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 策定時から一貫して減少、目標値の達成が見込まれる状況である。 ・ 高齢死者のうち、歩行中と自転車乗用中が約8割を占める。 ・ 歩行中の高齢死者のうち、夜間が約8割を占める。 ・ 高齢運転者による交通事故の割合は、年々増加傾向となっている。 |
| 今後の方向性 | <ol style="list-style-type: none"> ① 高齢者に対する交通安全教育の推進 ② 高齢運転者に対する交通安全教育の推進及び運転免許自主返納の促進 ③ 一般ドライバーによる高齢者に対する思いやり運転の推進 |
| 重点推進事項 | <ol style="list-style-type: none"> ① 高齢歩行者の交通事故の特徴を踏まえた交通安全教育及びきらめき 3H 運動の推進 ② 各種講座等の実施による高齢運転者に対する交通安全教育の推進及び高齢運転者の運転免許自主返納の促進に関する環境整備の推進 ③ 一般ドライバーによる高齢者に対する思いやり運転の推進（高齢者を守る意識の醸成） |

R1 重点対策検証シート

重点対策

自転車の交通事故防止

《対策の概要》

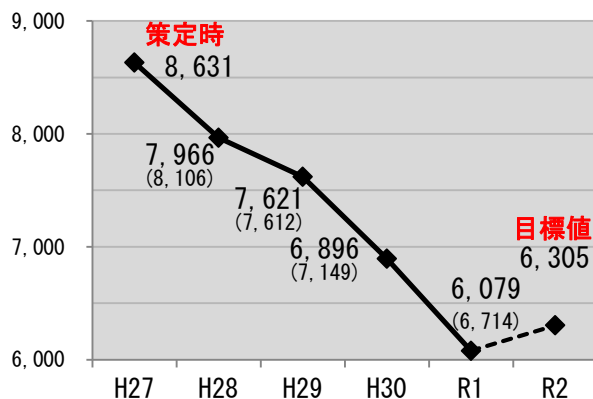
本自転車の交通事故死者数は、全国ワースト2位(R1)となっているが、自転車の死傷者数は減少傾向である。
事故を減少させるとともに、重大事故の発生を防止するため、安全教育や自転車用ヘルメット、反射材の着用を推進する。

担当課
防犯・交通安全課
道路環境課
教育局保健体育課
警察本部交通総務課

指標の進捗状況

| 指標 | 単位 | 策定時 | 最新値 | R2 目標値 | 傾向 | R1 評価 |
|-------------|----|-----------------|----------------|----------------|--|----------|
| 自転車乗用中の死傷者数 | 人 | 8,631 (H27年) | 6,079 (R1年) | 6,305 (R2年) |  11.8%減少 | S |

自転車乗用中の死傷者数



《評価の説明》

- 目標値を達成するため、各年目指す値をどれだけ達成できているかを表したもの
- S 評価・・・目標値以上の減少が見込まれる
- A 評価・・・順調・達成見込み
- B 評価・・・要努力
- C 評価・・・要大きな努力

《指標の説明》

- 1年間(1月～12月)の自転車乗用中の死傷者数

《現状→今後の方向性→重点推進事項》

| | |
|--------|--|
| 現状 | ○ 策定時から一貫して減少し、R1年において目標値以上の減少を達成した。 ・ 死者数、負傷者数共に前年から減少している。(死者数：△17人、負傷者数：△800人) ・ 自転車事故件数も減少傾向だが、全事故のおよそ3割を占める。 ・ 自転車乗用中死者の約8割に違反がある。 |
| 今後の方向性 | ① 交通事故を起こさない環境づくりの推進 ② 事故時の被害軽減対策の推進 ③ 子供と高齢者に対する自転車の交通安全教育の推進 |
| 重点推進事項 | ① 自転車レーンの整備など自転車利用環境の整備 ② 自転車用ヘルメット及び反射材等の着用推進 ③ 自転車事故の特徴を踏まえた交通安全教育の推進 |

R1重点対策検証シート

重点対策

子供の交通事故防止

※子供は高校生を含む

《対策の概要》

子供の交通事故死傷者数は年々減少している。
交通ボランティア等と連携して学齢に応じた交通安全教育を実施すると共に、子供を交通事故の被害から守るための通学路の安全対策や自転車ヘルメットの着用を推進する。

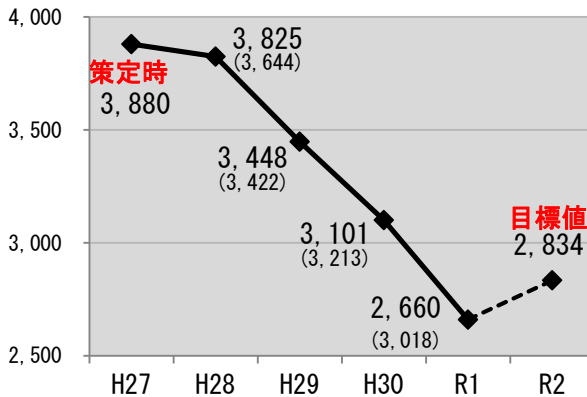
担当課

防犯・交通安全課
道路環境課
教育局保健体育課
警察本部交通総務課

指標の進捗状況

| 指標 | 単位 | 策定時 | 最新値 | R2 目標値 | 傾向 | R1 評価 |
|---------|----|-----------------|----------------|----------------|--|----------|
| 子供の死傷者数 | 人 | 3,880 (H27年) | 2,660 (R1年) | 2,834 (R2年) |  14.2%減少 | S |

子供の死傷者数



《評価の説明》

- 目標値を達成するため、各年目指す値をどれだけ達成できているかを表したもの
- S評価・・・目標値以上の減少が見込まれる
- A評価・・・順調・達成見込み
- B評価・・・要努力
- C評価・・・要大きな努力

《指標の説明》

- 1年間(1月～12月)の子供(高校生以下)の死傷者数

《現状→今後の方向性→重点推進事項》

| | |
|--------|---|
| 現状 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 策定時から一貫して減少し、R1年において目標値以上の減少を達成した。 ・ 歩行中の死傷者の割合は小・中・高と減少するが、自転車乗用中では増加し、特に高校生では約8割を占める。 ・ 事故類型では、歩行者は横断中、自転車は出会頭が最多となっている。 ・ 高校生の自転車の死傷者の約7割が登下校中となっている。 |
| 今後の方向性 | <ol style="list-style-type: none"> ① 自転車の交通事故の特徴を踏まえた安全教育の推進 ② 交通事故を起こさない環境づくりの推進 ③ 事故時の被害軽減対策の推進 |
| 重点推進事項 | <ol style="list-style-type: none"> ① 子供及びその保護者に対する交通安全教育の推進 ② 通学路における歩道整備や安全対策の推進 ③ 自転車用ヘルメットや反射材の着用推進 |

R1重点対策検証シート

重点対策

交差点における交通事故防止

※交差点は交差点付近を含む

《対策の概要》

交差点等の交通死亡事故は全体の半数以上となっており、全国平均より高い値で推移している。

交差点改良等の道路環境整備を計画的に進めるとともに、安全教育や反射材の着用を推進する。

担当課

防犯・交通安全課
道路環境課
教育局保健体育課
警察本部交通総務課

指標の進捗状況

| 指標 | 単位 | 策定時 | 最新値 | R2 目標値 | 傾向 | R1 評価 |
|-----------|----|------------------|-----------------|-----------------|-------------|----------|
| 交差点等の死傷者数 | 人 | 19,462 (H27年) | 13,358 (R1年) | 14,217 (R2年) | 12.1%減少 | S |

交差点等の死傷者数



《評価の説明》

○目標値を達成するため、各年目指す値をどれだけ達成できているかを表したもの

- S評価・・・目標値以上の減少が見込まれる
- A評価・・・順調・達成見込み
- B評価・・・要努力
- C評価・・・要大きな努力

《指標の説明》

○1年間(1月～12月)の交差点等における死傷者数

《現状→今後の方向性→重点推進事項》

| | |
|--------|--|
| 現状 | ○策定時から一貫して減少し、R1年において目標値以上の減少を達成した。 ・違反別では安全不確認や前方不注視がおよそ半数を占めている。 ・信号機ありでは右左折時、なしでは出会頭の事故が最多となっている。 |
| 今後の方向性 | ① 交通事故を起こさない環境づくりの推進 ② 交通取締り活動の推進 ③ 安全教育の推進(高齢者中心) |
| 重点推進事項 | ① 交通事故発生箇所等における交差点改良など交通環境の整備 ② 交差点関連違反の取締りの推進 ③ 高齢者に対する安全教育の推進及び反射材の着用推進 |